

時事新報

政争の品位漸く低し
民黨の目的は自から取て政府に代らんとするに在りとすれば其手段として粗暴過激に出るは不可なり行儀正しく理義を守りて一たび敗るれば再び唱へ再び敗るれば三たび唱へ唯政府の反省を促すよとを務めたらば政府は如何に執拗にして且つ實力に富むと雖も遂に最後に非ず其内情を窺へば乘すべき賤隙の一にして足らざるが故に鬼角する間に政府も自ら省み又民黨の評判は漸く世間に高くして漸く信用を得るに至るみるとある可し然るを之に反して行儀を崩し無理難題を提げて狂奔するとは彼我の勢を忘れ成敗の理を解せざるの甚だしきものにして沟に惜むに餘りあれど是れは獨り民黨の尤ならず一方の政府とても決して左程に持久力あるものゝ如し大政府に威信の義大なりとは當局者の常に口にする所なれども其威信を保つの法は果して人をして好意を表せしむるに足る可きやと云ふに我輩は容易に然りと云ふと能はず殊に過般國會解散の頃より以來は随分驚く可き奮發にして之を喻へば民黨は腕を挽して来る。政府も向鉢巻にて立合はざる可らずと云ふの趣を呈し威信を保つの行儀なれば殆んど度外に差措きたるの姿となりて爲めに解散以前に在ては民黨の所爲を非難して稍々政府に傾いたる人々も解散以後に至ては五分々々と認め喧嘩兩成敗なりとて窃に冷笑する者もなきに非ず今試に政府方の所謂御用新聞と民黨の機關新聞とを以て一讀するに其議論文章ともに亂暴狼藉を極め或は虚説を捏造して中傷離間を試み或は市井の無賴に倣ふて罵詈謔誑至り盡さるなく而して其調子烈しければ烈しき程まゝ忠義と稱せられ有力と認めらるゝと云ふ沙汰の限りにみそわれ我輩は實て輸入小新聞中猥褻鄙陋の文を遠慮なく書列ね、家族團欒の間は勿論士君子の席上に於て音讀を憚りて其調子烈しければ烈しき程まゝ忠義と稱せられ程の汚穢を見て甚だ悦ばず世教維持の爲めには何とか制裁の方法なかる可らずして立言したるみどもありしが今や大新聞と云へる政治の機關新聞紙も類みそされ品位下等にして御座に出されぬ一點は彷彿として小新聞と揮む所なし回顧すれば我國に未だ新聞紙條例の發布なかりし其時に新聞雑誌の年尚は若くして筆鋒頗る詭激なるものありしが今にして之を彼の機關新聞に比較すれば其品格遙に上流に位するが如し文明日進の今日社會の事務漸く粗野を脱して高尚優美を備はす可き時節に當り獨り新聞記事の逆流して却て其句調を低くするとは遺憾に堪へず畢竟するに其記事論説は間接直接受けの品位の下落したる所以は一は生存競争の急なるより唯衣食を是れ追ふて政界に奔馳する者の多きと又より唯衣食を是れ追ふて政界に奔馳する者の多きと又のなり

新聞紙の事が僅に其一斑を示したる迄なれども抑も政争の品位の下落したる所以は一は生存競争の急なるより唯衣食を是れ追ふて政界に奔馳する者の多きと又のなり

新聞紙の事が僅に其一斑を示した